



## はばたきステージがんばっています

3月の声を聞き、温かさと寒さを繰り返し、一雨ごとに春めいてきました。三寒四温とはよく言ったものです。冬の間じっと我慢していた植物が、日の光を受けて芽を伸ばし、葉を広げています。暖かい日には虫たちがエサを求めて飛び始めています。日差しが強まるのに合わせて生命が躍動していることを感じます。

磐田南小学校では、今この一年をまとめる時期を迎えています。どの学年も4月のスタートの時と比べ、体も学習や生活の様子もずいぶんと成長しました。

1年生は先日、南幼稚園の年長の子供たちとの交流をしました。どんなことをしたら一緒に楽しめるか、喜んでもらえるかを一生懸命考えました。当日は楽しく過ごし、新入生を迎える気持ちが育ちました。年長の子供たちも小学校の生活が楽しみになったことでしょう。

2年生は、授業中での発言が成長しています。友達の発言と比べたり、発表に付け足したりして深みのある表現ができるようになってきました。授業にのめりこむ姿も見られるようになってきました。

3年生は、仲間を大切に互いを高め合う生活をしています。困っている子にやさしく接したり、頑張っている子をたたえたり、違いを認めながらみんなが心地よくなるような空気が3年生の教室に流れています。

4年生は、福祉の学習を通して、人のためになることを考えたり周りの人が心地よくなる行いをしたりするようになりました。学級のまとまりも強くなり、長縄の8の字跳びも頑張っています。また、5年生から始まる委員会の活動に向けて気持ちが高まっています。

5年生は、「6年生ありがとう集会」を中心になって進め、学校の中心「最上級生」になる気持ちを強くしました。授業に集中する姿もたくさん見られ、真剣みが増してきています。委員会活動も本格的に取り組むようになり、安心して最上級生を任せられるようになってきました。

6年生は、自治意識の高まりが感じられます。自分たちで学級生活をよくしよう、問題があったら話し合って解決しよう、そんな気持ちが育っています。自分たちのクラスに誇りをもち、小学校生活の仕上げに向けて仲間と過ごす時間を大切にしています。また、6年間過ごした校舎などに感謝し、清掃活動などにも取り組んでいます。

今年度、磐田南小学校では「考えて動く」をテーマに教育活動を行ってきました。授業などの学習の場面ではもちろんですが、係や委員会などの活動、給食当番や清掃活動、毎日の生活や行事への取組など「なんとなくやる」「言われたからやる」のではなく、どうしたらもっと良くなる？何をしたらみんながうれしくなる？など、考えたうえで取り組むようにするのです。生成AIなどが進歩して、あまり考えなくてもいろいろなことができってしまうかもしれない世の中になりつつあるようにもとられがちです。しかし、そんな時代だからこそ「なぜ？」「どうして？」「どうしたら？」と考える習慣をつけないければ本来の人間らしさが失われてしまいます。来年度も引き続き「考えて動く」を大切にしていきたいです。

(校長 松井 信治)